

有限会社 鶴翔



次世代へ継ぐ準備を整え、乳量アップで経営安定化

お問い合わせ Tel 0154-65-3003 Fax 0154-65-3020



良い牧草が健康な牛を育てる

鶴翔は近隣にあった3戸の酪農家が集まり、2001年に法人化しました。キッカケとなったのは設備の老朽化。同じ頃、設備の入れ替えを検討していた3戸が各100頭ほど飼育していた乳牛を持ち寄って「鶴翔」が誕生しました。

現在総頭数は740頭で、うち430頭が経産牛という生乳を絞れる乳牛です。搾乳は1日3回行っており、年間乳量は約4,500t。「栄養価の高い牧草が、健康な牛を育てる」という方針を柱に、牧草収穫はタイミングや熟練スタッフによる刈り入れなど特に注力しています。搾乳はロータリーパーラースタイルで、



フィリピンやベトナムからの外国人技能実習生も活躍中。仔牛には哺乳ロボットを導入し、エサ寄せも自動で行うなど省力化を図っています。



会社概要

法人名：有限会社 鶴翔
〒085-1133
北海道阿寒郡鶴居村字幌呂484-4

創業年：2001年
代表者：岡田 辰弥
従業員数：17人（実習生含む）

一言PR



坂本 和也
代表取締役専務

高品質な生乳は健康な牛によって育まれます。つまり牛を健康に飼育する全ての作業が、酪農家の仕事です。特に良質な牧草の管理と収穫が、丈夫な牛の飼育の要だと考えています。

今後は次世代を担う後継者の育成を進めていきます。各部署も技術の継承をするべき世代交代のタイミングでもあります。そのため2019年に従業員用宿舎を新築し、積極的な人材確保を図っています。

栄養価の高い牧草が健康な牛を育てる

牧草は人間で考えるとお米のようなもの。おかずとなる濃厚飼料と違い繊維質が多いため、第一の胃「ルーメン」を鍛えてくれます。よく鍛えられた胃は多くの牧草を食べることができ、ひいては牛の成長と健康における重要な役割を果たします。牧草の栄養価は収穫時期によって大きく左右され、最初に刈り入れられた「一番牧草」は栄養価も高く、牛たちにとっての大好物。そのため、牛たちも食べる量が増えて健康増進につながります。



3回搾乳で乳量アップ

2005年から乳量アップを目指して、2回から3回搾乳に切り替えています。乳量は以前より15%増。搾乳の刺激によって牛1頭あたりの乳量も増え、乳房炎などの病気も抑えられます。



初心者にも分かりやすい酪農

スタッフは道外出身者も多く、全体の半数を占めています。東京都武蔵野市にある日本獣医生命科学大学の実習も約10年間受け入れており、未経験の方にも分かりやすい酪農を心がけています。

